

## 第4学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 尊敬と感謝の気持ちをもって2・(4)生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。  
資料名 わたしのお父さん (出典 彩の国のどうとく「みんななかよし」埼玉県教育委員会)

2 本時のねらい

自分たちの生活を支えるために一生懸命働いている人々に対する理解を深め、尊敬と感謝の気持ちをもって接する態度を育てる。

3 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応(・)	指導上の留意点(○) 評価(◆) 支援(※)研究主題との関わり(☆)	時間 資料
導入	1 毎日、家庭・学校・地域等でお世話になっている人々について話し合う。	・親・祖父母・兄弟 ・先生・調理師さん ・地域ボランティアの方	○事前にアンケートをとり、一人一人の意識を把握する。自分との関わりや体験などを自由に話させる。	5分
展開	2 資料「わたしのお父さん」を読み、話し合いの方向性をつかむ。		※父親は米作りの農家の仕事だけでなく地域の消防団にも所属していることをおさえ、どんな人がどのようなことをしているのかおさえる。 ☆「発表の仕方」に従い、正しい言葉遣いで、自分の考えを伸び伸びと発表させるようにする。	カード 5分
	3 由美の気持ちを中心に話し合う。 (1) 誕生日のお祝いの中だということに、急いで出かけていったお父さんを見て、由美はどんなことを思っただろう。 (2) お父さんが当然のことのように言った言葉聞いて、由美はどんなことを思っただろう。 (3) 心をこめて父の肩をたたき由美は、どんなことを考えているのだろう。	・せっかくの私の誕生日なのに。 ・家族みんなでお祝いしているのに、何でそこまでするの。  ・お父さんはすごいな。 ・地域の人が助け合っているから、みんな安心して暮らせるんだな。 ・人の役に立てることがうれしいなんて、お父さんはえらいな。 ・ありがとう。	○誕生日のお祝いの途中で出かける父への由美の不満な気持ちに共感させる。 ○嫌な顔一つしないで、人のために働く父親の姿から、父に対する由美の思いを深く考えさせる。 ○父の考えに納得し、父に対する尊敬と感謝の気持ちを表す由美の心の内を感じ取らせる。 ◆人の役に立つことを願い、家族のことも思う父に尊敬・感謝する由美の思いに共感できたか。	20分 場面 絵①
	4 自分の生活を振り返り、身近でお世話になっている人々への感謝の気持ちを感謝状にまとめる。	・これからもみんなのためをお願いします。	○身の回りで生活を支えてくれている人々に目を向け、尊敬・感謝の気持ちをもって感謝状を書かせる。 ☆自分の思いを素直な言葉で書くことができるようにする。 ◆日ごろ世話になっている人々の存在に気づき、それらの人々の善意に感謝する気持ちを具体的な言葉に表すことができたか。	感謝状 カード 10分
終末	5 教師の説話を聞く。 登校の安全を守ってくださっている地域の方へ聞いたお話を紹介する。	・ありがたい。 ・感謝の気持ちをこめてあいさつをしたい。	○身近で日ごろ世話になっている人々が自分たちに寄せてくれた善意について考え、感謝の念について改めて考えることができるようにする。	5分